

# Hyuga Tourism Association Inc.

# DX Strategy

---

一般社団法人 日向市観光協会DX戦略

---

一般社団法人日向市観光協会 誘客・地域づくり推進課

---

2025年8月1日発行

---

Copyright © 2025 Hyuga Tourism Association Inc. All Rights Reserved.

---



# 01

## 経営理念・事業概要

### 経営理念

人々の営みが育んだ文化と自然を背景に  
常に世界に選ばれるディステーションを目指し  
持続可能な社会を地域と一体的に実現する。

### 事業概要

当会は、宮崎県北東部に位置する日向市の魅力を発信し、観光誘客を通じた地域活性化を推進する団体です。観光地のPRや観光コンテンツの開発等を通じて観光客の誘致を図るほか、観光施策の企画立案や調査研究にも積極的に取り組んでいます。また、周辺市町村の観光関係団体・機関と連携し、広域観光を推進にも力を入れています。加えて、観光物産施設である「まちの駅とみたか」や「馬ヶ背茶屋」の管理運営を行い、旅行業として着地型旅行商品の造成や国内外からのワーケーションの受け入れなど、多角的な観光事業を通じて、地域の優位性を活かした持続可能な観光地域づくりを行っています。

# 02

## DX戦略策定の背景と目的

### 観光マーケティング戦略の転換

近年の日向市の観光入込客数の推移をみるとコロナ禍で大きく落ち込んでおり、コロナ禍以前のピークにはまだ及んでいない状況です。首都圏や関西圏をはじめとする大都市圏においては、インバウンドが集中し、オーバーツーリズムが顕在化する一方、当市を含め地方においてはコロナ禍以降立ち直れていない現状があります。

この状況を脱して、持続可能な地域として発展していくためには、大都市圏とは異なるマーケティング戦略でアプローチする必要があります。

これまでの観光プロモーション施策としては、エージェントなどへの働きかけやマスツーリズムを念頭に置いたキャンペーンなどを行うこともありましたが、持続可能な観光地域づくりの実現には、入込客数の平準化により、一年を通じて来訪者数の底上げを行うことが大切になってきています。

これらの取組を実行する際は、「データに基づいた誘客施策の企画立案」や「個人やコミュニティ」を対象とした「データ駆動型マーケティング」への転換が必要になります。本戦略は事業のデジタル化を推進し、マーケティング戦略の変革を行うことを目的として策定します。

## 03

## DX推進経営ビジョン

## データに基いた観光事業の実施

近年世界中でAIやIoTなどの情報通信技術が向上して普及したことにより、旅行者個人が多種多様な趣味趣向に基づいて情報を収集し、旅する環境が当たり前のものとなっています。旅行業界においても個人旅行客の増加によって「旅行会社主体の発地型観光」よりも「地域が観光客と直接つながる着地型観光」が台頭しています。

そういった環境の中で観光客を受け入れる側としては、正確なマーケティングに基づいて自地域の魅力を「特別なもの」として情報発信をすることが誘客につながると考えています。

そこで、当会では観光業務のデジタル化を推進し、業務の効率化のみならず人流や観光消費に関する情報収集を通じて「データに基づくマーケティング」を行うことで、顧客像に応じた根拠ある情報発信や観光地域づくりに取り組み、観光事業の変革を図ります。

このように観光DXを推進することで、日本や九州の観光を希望される国内外のお客様が日向市の文化と自然を魅力的に感じ、数ある観光地の中で最終的な目的地として選んでいただけるように観光事業を展開して参ります。

一般社団法人日向市観光協会  
会長 黒木 繁人

## 04

## DX推進の具体的な方策



2025年新規方策

デジタルデータの  
積極的活用

生成AIの  
適切な業務利用

デジタルマーケ  
ティング人材の  
育成

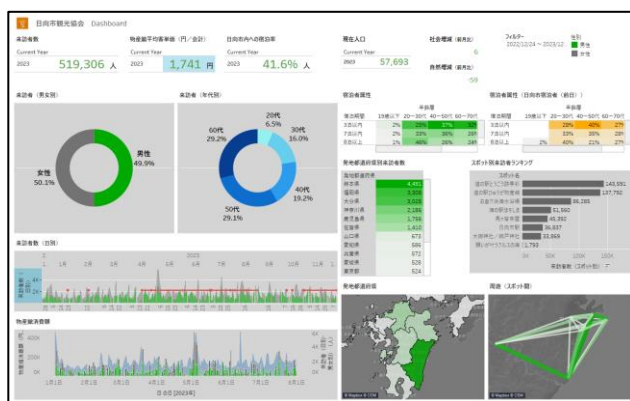
クラウド  
システムの活用



# デジタルデータの積極的活用

当会では、経営する物産館のPOSデータや観光地における人流データ等のデジタルデータと行政が提供している統計情報を組み合わせたデータマネジメントプラットフォーム（DMP）を運用しています。

今後はDMPを活用した事業企画のマーケティングやイベントの効果測定を行い、データに基づいた観光事業の実施を推進して参ります。

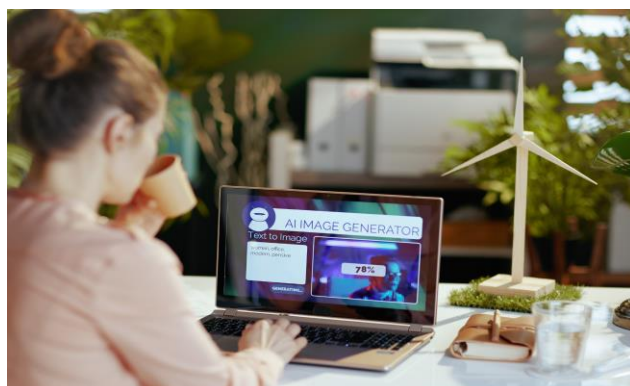


当会が運用している観光DMP画面（一例）

# 生成AIの適切な業務利用

当会が所有する人流データやPOSデータ等のビッグデータを分析し、業務に活用する際に生成AIを利用します。また、マーケティング等においても企画や計画立案の際などに活用し、業務を推進します。

生成AIの利活用にあたっては、当会が作成したガイドラインを遵守し、適切に業務利用して参ります。

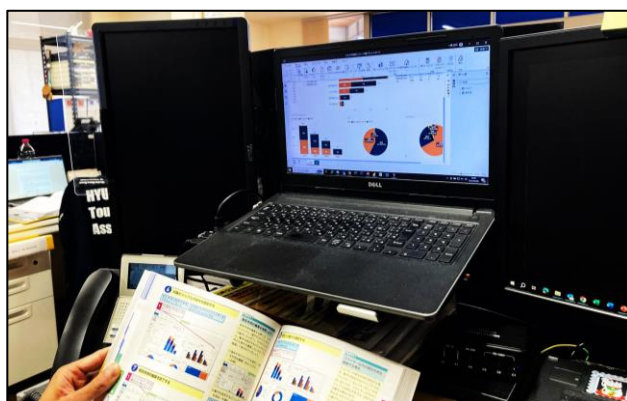


既存の生成AIサービスの業務利用

## デジタルマーケティング 人材の育成

当会では、デジタルマーケティングに関して専門的な知識をもつ人材の育成を目的とした「BIツールや生成AIの利活用」に関する研修を実施しています。

加えて外部の専門家を招き、技術的な支援や研修を社内で定期的に行っており、デジタルマーケティングによる観光事業の変革を推進する人材育成に取り組んでいます。



BIツールを活用したマーケティング研修

## クラウドシステム の活用

当会では株式会社BOXJapanが運用しているクラウドシステム「BOX」を使用しています。このシステムにより自社が収集・生産するデータがクラウド上に保存され、従業員間での迅速なデータのやり取りと業務の連携が可能になっています。

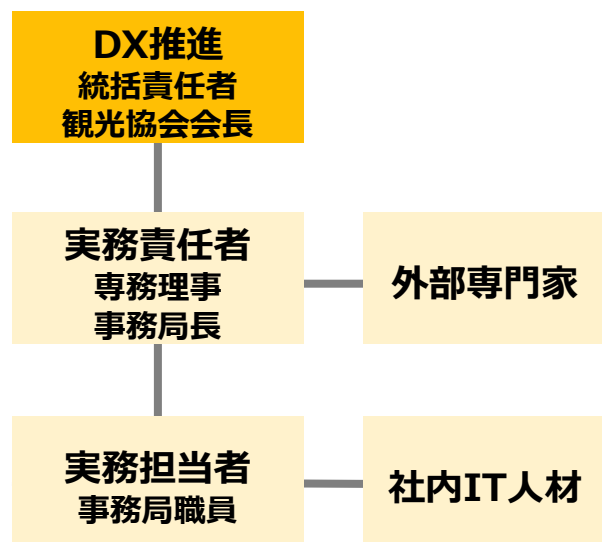
また、お問合せや観光情報等をデータベースで一元管理するシステムを構築し、「局内情報のナレッジ化」を図っています。



アクセシブルなクラウドシステムの導入

## 05

## DX推進の組織体制



当会ではDX推進を確かなものにするために観光協会会長がDX推進の統括責任者となり、総務及び事業部門の責任者である専務理事と事務局長を実務責任者とします。DX推進事項の実務については、事務担当者である事務局職員が主体的に取組み、社内のIT人材が技術面においてサポートする体制を構築します。

また、新規システムの導入や人材育成については、実務責任者が外部の専門家を積極的に活用し、社内IT人材を中心とした職員の技術向上を図るものとします。

## 06

## DX推進の達成状況をはかる指標（KPI）

DX推進により「データに基づいた観光事業の実施」が実現することを前提に以下の項目を指標とします。

### データの 利活用件数

デジタルデータを  
活用した事業企画  
や業務実施の回数



### デジタル化 実施件数

業務プロセスのDX  
化やペーパーレス  
化を実施した件数



### IT資格 保有人数

IT知識を証明する  
資格の取得者数





Hyuga was not built in a day.